

# デザインの現場

vol.23 no.147

2006

6

Jun.

DESIGNERS' WORKSHOP

ミラノサローネで学ぶ“見せ技”  
パトリシア・ウルキオラ／吉岡徳仁／辻 邦浩

特集

## プレゼンテーションの底力

心をつかむ展示空間、ディスプレイ、広告

Brand LISMO／モロゾフ グラン／イケア

Display BARNEYS NEW YORK GINZA

Exhibition ギンザ・グラフィック・ギャラリー

Lighting 五十嵐久枝×山田照明

Material 文田昭仁／森田恭通／トネリコ

特別記事 第7回シヤチハタ・ニュープロダクト・デザイン・コンペティション  
竹尾ペーパーショウ2006「UNBALANCE/BALANCE」  
フォクト+ヴァイツェネッガー展

連載 定番書体 ヘルマン・ツァップ

年間購読キャンペーン

申し込み期間限定、  
割引サービス実施中!

次号2006年7月27日発売  
<http://book.bijutsu.co.jp>



ベンチャーキャピタルのDCM社のプロモーションツール。投資家と共に行動する姿勢を一貫してアピールする同社のために、クリスマスシーズンに配布するありきたりでない作品として、子供にも喜ばれるコースターを制作した



アジア市場でビジネス展開を図るインターネットプロバイダーのiAsiaWorksのステーションナリーキット。キービジュアルは、陰陽の伝統的モチーフをベースに集積回路をデザイン化。アジアの多様な文化のネットワークを象徴している

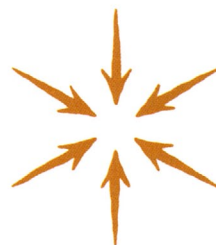
躍のきっかけとなったサン・マイクロシステムズのロゴ。同社の創業者スコット・マクレーニが座右の銘にしている「一本の矢にすべての力を託せ」という哲学を、ブラシ・ストロークのモチーフで表現した。のちに、とある教会でこのデザインが盗用されているのを発見したが「スピリチュアルな点ではサンも教会も似ているよね」と、アール・ジーは意に介さない



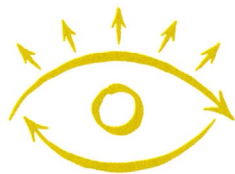
[ WORLDWIDE  
OPERATIONS ]



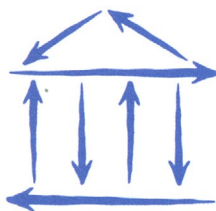
[ MISSION  
STATEMENT ]



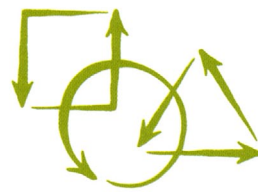
[ STRATEGIC  
INITIATIVES ]



[ VALUES ]



[ ARCHITECTURAL  
DIRECTION ]



[ COMPONENTS ]



# Give Something Back International

EDUCATION TO CHANGE LIVES

「魚を与えても一日の糧にすぎないが、漁を教えれば一生の糧となる」という中国の格言を体現した非営利団体のロゴとワードマーク。フロリダに本拠を置き、主にアジアの子供たちの教育機会を無償で提供している。ジー+チャン・デザインはその主旨を踏まえ「知のリサイクル」というコンセプトを視覚化した

Design Office Report from USA

14

ジー+チャン・デザイン

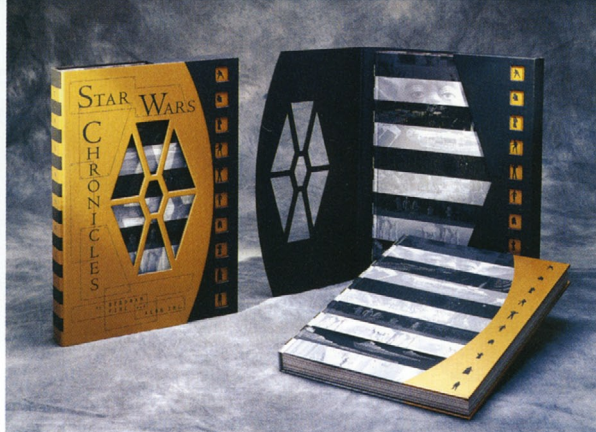
## Gee+Chung Design

サンフランシスコ

取材・文 **道添進**  
TEXT by SUSUMU MICHIZOE

一流のデザインオフィスがひしめくサンフランシスコ。ハイテクバブルの波を乗り越えて着実に名声を確立していったジー+チャン・デザイン。「生き延びる」から「楽しくデザインする」へどうシフトしていったのか。その秘訣をパートナーの二人に聞いた。

ファン垂涎の『スター・ウォーズ』手帳。コーヒーテーブルブックサイズの大判で、厚手のカバーは型抜きを施し、ページには映画のキャラクターのシルエットが配されている。ランドー勤務時代の同僚がクロニカルブックス社に転職し、その関係で依頼を受けた仕事



[左] 展示デザインにも定評あるジュー+チャン・デザイン。半導体素材メーカーのアプライドマテリアル社のトレードショー。子供、未来、発見をテーマに画像が動く仕組み。

[下] ネットセキュリティソリューションの大手Quarlys社のトレードショー。カギをモチーフにしている



ルだ。サン・マイクロスistemズのロゴを見て、是非とも仕事を依頼したいという。それは28頁もののフルカラープロシユアで、オフィスを開業して初めての大型プロジェクトに二人は心が躍った。ただし、提示された制作期間は、納品までわずか3週間。トレードショーで使いたいのので絶対に遅れは許されぬという。不安が頭をもたげたが、それを押し殺すかのように二人は「問題ありませんよ」と、即答していた。

その場でラフスケッチを描き始め、徹夜で全頁の構成案を仕上げた。最大の問題はイラストレーターを12人も使うという点だ。折しも年末休暇に入ろうという時期、さっそく協力スタッフ探しを始めた。一方、デザインは昼夜を分かたず進められ、ジュー+チャン・デザインは目の回るような日々を過ごすことになる。

「ハッと目が覚めて時計を見ると夜中の2時。横ではモニターの前でファニが突っ伏しているし、デザイナーたちは床で寝ころんでいる」そんな状態が十数日続いた。クリスマスマスの間近の入稿段階では、もうこの印刷所も動いていない。とうとう二人は奥の手を出すことにした。彼らは香港へ飛んだのだ。ファニ・チャンが生まれ育った香港は今も両親が暮らすため、年末には帰郷する二人。この年は入稿用のデータを持えて、現地の印刷所に発注したのだ。

クライアントは、作品の質はもろんのこと、短期間でやり遂げた彼

らを高く評価してくれた。また、苦労に見合うだけの報酬も手になることができた。しかし達成感も小さなむなしさを連れてきた。若いからこそできた力仕事。消耗戦といつてもいい。こんなプロジェクトはこれっきりにしよう。二人はそう考えた。

**大胆にデザインし、  
堅実にビジネスする**

「ご飯食べましたか？」という伝統的な中国の挨拶がある。デザインもその通りで、よく食べ、よく眠ることが鋭い感性を養い、みずみずしい想像力を湧かせると二人は思う。長いデザイナー人生の中では、がむしゃらな時期があってもいい。だが、競争の激しいサンフランシスコですと第一線に居続けたいなら、この合いを見計らってソフトランディングを図る必要がある。

二人はビジネスの仕事を分担することにした。アールが営業活動を担当し、ファニは財務を引き受ける。「そうすることで僕らの本来の仕事、デザインにも集中できるようにになったんだ」と、アールは語る。見積り作成においては、ファニが力を発揮した。香港のレストランビジネスで成功を取めた父の薫陶を受けながら育ったファニは、幼いころから売り上げと利益と諸経費とのバランスについて、感覚的に会得していた。

「あの、サン・マイクロスistemズのロゴのような転機になる仕事は例外として、経費だけで消えてしまっ

NUMBER  
THREE  
IN A SERIES

ADVANCED TECHNOLOGY  
FOR HELPING HANDS  
FROM GREENLEAF MEDICAL

*Precision* SYSTEM

EVAL Computerized Evaluation of the Hand and Upper Extremity

INDUSTRY TRENDS

A VISION FOR

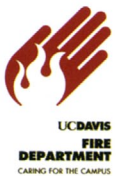
Despite the market slow down of the last year, innovation remains strong. Furthermore, enterprise capital spending continued to grow, according to the US Department of Commerce. The number of patents filed in the information technology industry increased 90% of total U.S. economic growth in 2008.

The number of patents filed in the information technology industry increased 90% of total U.S. economic growth in 2008. This indicates that innovation is a key driver of the growth engine.

Industry Outlook  
- Digital Competitiveness  
- Digital Confidence  
- Digital Productivity

The new report will allow all major segments of the IT industry to identify their strengths and weaknesses for the next year. It will also provide insights on emerging trends and opportunities for growth. It will be a valuable tool for IT executives and analysts. Although the report is a preview of the future, it is based on solid data and is highly regarded by all concerned parties. The information is

個性やつながりを示すアイコンとしての「手のひら」はジー+チャン・デザインが好んで用いるテーマだ。  
 [上]ベンチャーキャピタルのDCMの記事広告。  
 [左上]手による施術をコンピューターで評価するプレジジョンシステムの広告。  
 [左下]カリフォルニア州立大学デービス校のサインシステム



たった8000ドルのロゴが始まりだった

よい仕事は未来への投資

独立開業後のデザイン会社は毎日  
が背水の陣だ。ランドローアソシエ  
ツのアートディレクターを経て19  
90年に独立したアール・ジーとフ  
アニ・チャンは、クリエイティブの  
品質とビジネスの採算性とのバラ  
ンスを取りながら、必死で活路を見出  
そうとしていた。そんな90年代半ば、  
初めての大物クライアントが連絡を  
取ってきた。JAVVAを生み出し、  
ワークステーションで世界をリード  
していたサン・マイクロシステムズ  
だ。展示会で使うロゴマークのデザ  
インを依頼してきたのだが、諸般の  
事情により予算はわずか800ドル  
(約10万円)。だが、二人はこの案件を  
未来への投資と考えることにし、全  
力で制作に打ち込んだ。その結果、  
クライアントの期待以上の作品を提  
供し感謝されたのはもちろんだが、  
予想外のメリットをもたらした。そ  
のロゴが20以上ものデザイン賞を獲  
得した。これがジー+チャン・デザ  
インの大きなプロモーションとな  
り、さらに、新たなビジネスへと結  
びついていった。

街角がクリスマス気分には浮き立つ  
12月初旬。再び思いがけないクライ  
アントが訪ねてきた。相手は世界が  
注目するITの急成長企業、オラク



ベンチャーキャピタルのDCM社が主催したマジックショー・エンターテインメントの招待状(右)。DCMの文字を魔術師の白手袋ハンドで表現。カードサイズにしてポケットに入れるなど手軽に持ち運べるようにした。  
中国の旧正月パーティー用のロゴ(上)は、戌年にちなみDCMの文字で模様をデザインしたもの



Gee+Chung Design (ジー+チャン・デザイン) 公私ともにパートナーであるデザイナーのアル・ジー(右)とファニー・チャンを中心にデザイナー7名で構成。サンフランシスコ生まれの中国系アメリカ人であるアル・ジーはロサンゼルスのアートセンターを卒業後、ランドーアソシエーツに勤務。香港生まれのファニー・チャンはワシントン大学とイェール大学でデザインを専攻し、同じくランドーアソシエーツ入社。1990年にGee+Chung Designを設立。シリコンバレーのハイテク産業を中心に高い評価を得ている。

38 Bryant Street, Suite 100  
San Francisco, CA 94105 USA  
Tel: +1-415-543-1192  
Fax: +1-415-543-6088  
www.geechungdesign.com



サンフランシスコ湾に架かるベイブリッジのそばに立つビル。1階がオフィス、上階の1ユニットをアル・ジーとファニー・チャンの住まいにしている。いずれも2000年前後に到来したハイテクバブル以前に購入していたおかげで、オフィス賃料の高騰にも翻弄されることなく仕事に専念できたという



仕事は受けないと決めました」とト  
アニ。案件の内容を十分に理解する  
ための時間と、才能を惜しみなく投  
入できるデザイン費用、そして写真  
家やイラストレーターなどベストオ  
ブベストを起用する費用をクライア  
ントに理解させること。それは才覚  
というよりも志の問題であり、誰で  
も可能なことだと彼らは語る。  
今、彼らのクライアントの主軸は、  
パロアルト(シリコンバレーの一角を形  
成する産学共同都市)に集中している。  
通信、ソフトウェア、生命科学、そ  
してベンチャーキャピタル。いかに  
も西海岸の先端産業の縮図ともいえ  
るクライアント構成である。パロア  
ルトの起業家たちの面白さは、常に  
未来を視覚化しようという強い気持  
ちだ。自由闊達で遊び心に満ちた有  
能な人びとに、デザインでいかに応  
えていくか。クリエイティブとビジ  
ネスとの両立は結局のところ永遠の  
課題だけれども、自分も楽しめる相  
手と仕事をしたい。その思いは、あ  
のサン・マイクロシステムズとの出  
会い以来変わらない。

破天荒な生き方をクリエイティブ  
の糧とするデザイナーがいる。一方  
で常識人のライフスタイルを守りな  
がらデザインと向かい合う人もい  
る。両者に共通しているのは人生を  
楽しみ、クライアントとの関係を楽  
しめる人だ。サンフランシスコのデ  
ザイン界で、ジー+チャン・デザイ  
ンはこれからの第一線をマイペース  
で走り続けることだろう。